

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1月の鉱工業生産指数、2.2%上昇 自動車などがけん引

・経済産業省が発表した1月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は104.0となり、前月から2.2%上がった。普通乗用車など自動車工業がけん引し、3カ月ぶりの上昇となった。全15業種のうち13業種が上昇し、2業種が低下した。生産の基調判断は前月の「一進一退」を据え置いた。上昇した13業種のうち自動車工業は9.1%上がった。

◆政策減税や補助金見直し、3万6000の意見集まる 財務相

・片山財務相は閣議後の記者会見で、租税特別措置と呼ぶ政策減税や補助金の見直しに向けた意見が約3万6000件寄せられたと明らかに。集まった意見を参考に効果の乏しいものは廃止・縮小し、2027年度予算などに反映させる。意見は内閣官房のホームページ上で2月26日まで受け付けた。集まった意見は「しかるべき時に公開したい」と述べた。

◆機内のモバイルバッテリー規制、4月中旬から 国交省がルール改正案

・旅客機内で相次ぐモバイルバッテリーの発火を受けて規制の強化を検討していた国土交通省は持ち込みを1人2個までとし、機内で使用しないよう求めるルールの改正案を公表。4月中旬からの適用を目指す。機内に持ち込めるのは、160ワット時以下のモバイルバッテリーと、カメラなどの予備電池を合わせて2個までとする。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆1月着工、持家1.4万戸で10カ月ぶりに増加

・国土交通省が公表した2026年1月の新設住宅着工戸数は5万5898戸(前年同月比0.4%減)で、3カ月連続で減少。持家が10カ月ぶりに増加した一方、貸家や分譲住宅は減少。季節調整済み年率換算値は75万5000戸(前月比0.1%減)で、再び減少となった。利用関係別では、持家は1万4418戸(前年同月比6.6%増)。

◆アイカ工業社長「インド社買収で化粧板生産3倍」アジア拠点を最適化

・建築資材大手のアイカ工業がインドの建装建材メーカーを買収する。買収予定額は最大350億円超と同社の買収金額としては過去最高。家具や什器(じゅうぎ)に使うメラミン化粧板の生産量は足元に比べ3倍ほどに拡大する見込み。建装建材事業では主力の中国が落ち込むなか、インドに足場を築き海外事業を再び成長軌道に乗せる。

◆京都市、水道の検針を自動化 関西電力送配電のスマートメーターで

・京都市と関西電力送配電は市内の一部地域で共同で水道の自動検針に取り組むと発表した。電力や水道、ガスの検針データを遠隔から自動で取得できる同社の次世代スマートメーターを活用し、2027年3月ごろから共同検針を始める。市上下水道局の点検員が目視で確認している作業の効率化と負担軽減を狙う。

《 注目商品 》

■トーヨーキッチン、マットメタリック+立体表情の新デザイン

・システムキッチン「BAY(ベイ)」「BAY CUBE(ベイキューブ)」の新デザインとして「S チタニウム2」をラインアップ。マットメタリックな質感と、高圧・高熱処理された特殊樹脂含浸素材「HPL(ハイプレッシャーラミネート)」による立体的なテクスチャーが繊細な陰影を表現。



■シャープ「プラズマクラスターエアコン<Rシリーズ>」

・2027年度を目標とする新省エネ基準を全機種で達成した、プラズマクラスターエアコン<Rシリーズ>8機種を発売。カビの増殖を抑制する「防カビカラッとファン」を新たに搭載。カビ対策として、業界で初めてファンに「超親水ナノコーティング」を採用。



■「HiKOKI」からコードレス静音インパクトドライバ「WHP12DB」

・コードレス静音インパクトドライバ「WHP12DB」を発売。作業音を70dBに抑える静音設計を採用、屋内作業や住宅街での締付けに適している。タプレスセル技術を採用したリチウムイオン電池BSL1250MTにより、当社従来品WHP12DAと同質量ながら、高出力化を実現。

